



平成29年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 メディカル・データ・ビジョン株式会社

上場取引所 東

コード番号 3902 URL <http://www.mdv.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 博之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部門長 (氏名) 井上 太郎

TEL 03-5283-6911

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	1,333	28.6	144		142		85	
28年12月期第2四半期	1,036		7		8		9	

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 85百万円 (%) 28年12月期第2四半期 9百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	4.27	
28年12月期第2四半期	0.53	

(注) 1. 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、また平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純損失金額又は1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

2. 平成28年12月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、平成29年12月期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	3,899	2,895	74.3
28年12月期	3,194	2,809	88.0

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 2,895百万円 28年12月期 2,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		0.00		0.00	0.00
29年12月期		0.00			
29年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	36.8	542	25.9	540	29.9	311	74.9	16.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) MDVコンシューマー・ヘルス ケア株式会社、除外 社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年12月期2Q	20,007,200 株	28年12月期	20,007,200 株
-----------	--------------	---------	--------------

期末自己株式数

29年12月期2Q	640 株	28年12月期	640 株
-----------	-------	---------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

29年12月期2Q	20,006,560 株	28年12月期2Q	18,903,351 株
-----------	--------------	-----------	--------------

(注) 当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、また平成29年5月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、企業業績や雇用環境の改善が見られました。一方、米国政策運営が不透明なことや、深刻な人手不足の影響が顕在化していることから、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループの主たる事業領域である医療関連業界におきましては、社会保障・税の一体改革で描かれた平成37年(2025年)の医療・介護の将来像の実現に向けて、各都道府県において地域包括ケアシステム構築のため、地域の現状や課題、将来の医療需要の推計等を踏まえた地域医療構想が策定されております。また、医療情報システムに関する国策として、「未来投資戦略2017」においては、ビッグデータを利活用した診療支援やICT化が推進されております。

このような事業環境のもと、医療機関向けのパッケージ販売を主としたデータネットワークサービスにおいては、DPC分析ベンチマークシステム「EVE」の導入数が799病院と、大規模なDPC実施病院のベンチマークデータを保有するにいたりました。また、病院向け経営支援システム「Medical Code」の導入数は239病院となりました。

主として製薬会社向けのデータ利活用サービスにおいては、診療データ分析ツール「MDV analyzer」の利用社数が、13社となりました。医療関連業界においてもビッグデータの活用が注目されている中、当社が保有する大規模診療データベースについて、平成29年6月末現在で、実患者数が全日本国民の7人に1人に相当する1,871万人となりました。

1月には、歯科分野における著名な医師の手技や臨床知識の共有による医療の質向上を目的とした医師向け会員型サービスを行っている株式会社Doctorbookの全株式を取得いたしました。歯科分野から市場の大きい医科分野へ展開できる基盤を当社グループは有するとともに、株式会社Doctorbookの持つ優れた動画制作能力により、既存事業の営業手法の変革も期待できるため、当社グループの更なる成長と医療の質向上を加速させると判断しております。

2月には、当社が保有する大規模診療データベースから、本質的な生活者ニーズを読み取り、それに即したOTC医薬品・H&BC製品を製造販売することを目的とし、MDVコンシューマー・ヘルスケア株式会社を設立いたしました。

6月には、株式会社コスメックスの全株式を取得いたしました。当社グループは、株式会社コスメックスが行っている、「少施設多症例治験」によるSMO業務、及びシステムを活用した効率的かつ充実した治験施設への支援を成長させる顧客基盤を有しております。さらに、大規模診療データベースを利活用した治験事業の実現により、当社グループの更なる成長と医療の質向上を加速させると判断しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,333,583千円(前同四半期比28.6%増)となり、売上総利益は1,084,742千円(前同四半期比29.4%増)となりました。

販売費及び一般管理費については、主に、業容拡大に伴う人員増加による給与手当、新規サービスにおける保守料及び広告宣伝費の増加等により、940,454千円(前同四半期比11.2%増)となりました。その結果、営業利益が、144,287千円(前同四半期△7,225千円)となりました。

営業外収益として受取利息等を計上し、営業外費用として株式交付費償却等を計上したことにより、経常利益が142,606千円(前同四半期△8,237千円)となりました。

特別損益については、主に、減損損失を計上したことにより、税金等調整前四半期純利益は126,089千円(前同四半期△8,441千円)となりました。

法人税、住民税及び事業税を54,136千円計上し、法人税等調整額を△13,535千円計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は85,488千円(前同四半期△9,925千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1. 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産残高は、前連結会計年度末と比べて705,071千円増加し、3,899,096千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比べて288,708千円増加し、3,086,057千円となりました。これは主に、売掛金が355,991千円減少したものの、現金及び預金が550,347千円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて417,701千円増加し、811,971千円となりました。これは主に、のれんが345,242千円、投資その他の資産が76,484千円増加したことによるものです。

繰延資産は、前連結会計年度末と比べて1,338千円減少し、1,067千円となりました。これは、株式交付費償却によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債残高は、前連結会計年度末と比べて619,582千円増加し、1,003,781千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比べて347,719千円増加し、711,474千円となりました。これは主に、短期借入金
が133,200千円、その他の流動負債が224,237千円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて271,863千円増加し、292,306千円となりました。これは主に、長期借入金
が266,800千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産残高は、前連結会計年度末と比べて85,488千円増加し、2,895,315千円とな
りました。これは利益剰余金が85,488千円増加したことによるものです。

2. キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、2,409,695千円と
なりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりでありま
す。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、647,556千円(前同四半期は、208,640千円の収入)となりました。これは主に、
プラス要因として、売上債権の減少が374,544千円、前受収益の増加が242,467千円、税金等調整前四半期純利益が
126,089千円であった一方で、マイナス要因として、法人税等の支払額が61,606千円、未払金の減少が30,118千円、
たな卸資産の増加が27,072千円であったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、595,228千円(前同四半期は65,320千円の支出)となりました。これは主に、連
結範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出が383,719千円、定期預金の預入による支出が100,000千円、敷金の
差入による支出が53,876千円、有形固定資産の取得による支出が14,821千円、無形固定資産の取得による支出が
42,565千円であったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、398,019千円(前同四半期は6,768千円の収入)となりました。これは主に、短期
借入れによる収入が133,200千円、長期借入れによる収入が266,800千円であったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年2月13日の「平成28年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結
業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,348	2,509,695
売掛金	770,167	414,175
原材料	9,974	35,002
その他	57,861	127,215
貸倒引当金	△2	△31
流動資産合計	2,797,349	3,086,057
固定資産		
有形固定資産	105,751	100,059
無形固定資産		
ソフトウェア	127,127	101,573
のれん	-	345,242
その他	-	27,220
無形固定資産合計	127,127	474,036
投資その他の資産	161,391	237,876
固定資産合計	394,270	811,971
繰延資産	2,405	1,067
資産合計	3,194,024	3,899,096
負債の部		
流動負債		
買掛金	39,618	34,498
未払法人税等	80,832	76,234
短期借入金	-	133,200
その他	243,303	467,540
流動負債合計	363,754	711,474
固定負債		
資産除去債務	18,681	21,318
長期借入金	-	266,800
その他	1,761	4,187
固定負債合計	20,443	292,306
負債合計	384,198	1,003,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	981,156	981,156
資本剰余金	1,565,876	1,565,876
利益剰余金	263,104	348,593
自己株式	△311	△311
株主資本合計	2,809,826	2,895,315
純資産合計	2,809,826	2,895,315
負債純資産合計	3,194,024	3,899,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	1,036,620	1,333,583
売上原価	198,318	248,841
売上総利益	838,302	1,084,742
販売費及び一般管理費	845,527	940,454
営業利益又は営業損失(△)	△7,225	144,287
営業外収益		
受取利息	166	27
その他	174	18
営業外収益合計	341	45
営業外費用		
支払利息	13	359
株式交付費償却	1,338	1,338
その他	-	28
営業外費用合計	1,352	1,726
経常利益又は経常損失(△)	△8,237	142,606
特別損失		
固定資産除却損	204	253
減損損失	-	16,263
特別損失合計	204	16,517
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△8,441	126,089
法人税、住民税及び事業税	2,144	54,136
法人税等調整額	△660	△13,535
法人税等合計	1,484	40,600
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,925	85,488
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△9,925	85,488

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,925	85,488
四半期包括利益	△9,925	85,488
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,925	85,488

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,441	126,089
減価償却費	39,393	44,769
減損損失	-	16,263
のれん償却額	-	9,821
株式交付費償却	1,338	1,338
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	28
受取利息	△166	△27
固定資産除却損	204	253
売上債権の増減額(△は増加)	252,000	374,544
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,782	△27,072
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,972	△5,119
未払金の増減額(△は減少)	△8,067	△30,118
未払費用の増減額(△は減少)	2,412	6,940
前受収益の増減額(△は減少)	105,837	242,467
その他	△57,530	△51,042
小計	283,228	709,136
利息及び配当金の受取額	166	27
法人税等の支払額	△74,755	△61,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	208,640	647,556
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△26,433	△14,821
無形固定資産の取得による支出	△38,305	△42,565
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△383,719
敷金及び保証金の差入による支出	-	△53,876
その他	△582	△245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△65,320	△595,228
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	-	133,200
長期借入れによる収入	-	266,800
新株予約権の行使による株式の発行による収入	7,500	-
リース債務の返済による支出	△575	△580
その他	△155	△1,400
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,768	398,019
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	150,088	450,347
現金及び現金同等物の期首残高	1,751,953	1,959,348
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	15,940	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,917,981	2,409,695

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間より、MDVコンシューマー・ヘルスケア株式会社を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。なお、MDVコンシューマー・ヘルスケア株式会社は当社の特定子会社に該当しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、株式会社Doctorbookを株式取得により連結の範囲に含めております。さらに、当第2四半期連結会計期間より、株式会社コスメックスを株式取得により連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

当社グループは、医療データネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

当社グループは、医療データネットワーク事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。